



半澤利貞

# 滞納処理について

## 質問

12月議会で質問した滞納問題で、監査員は平成4年に3億円程の土地があり、その近隣でもあり6・7千万の価値があると判断し不納欠損処理をしたとの答弁であった。いつ誰が鑑定したのか。また滞納処理の金額を伺います。

## 監査員答弁

平成4年に水源地周辺を3億5千万で購入した場所は、4万1千352㎡があり、処理した土地は1万2千㎡であった。

土地の鑑定は経費削減の観点から鑑定士は入れていない。平成4年の買取り価格を基に近隣の評価額の時点修正率を参考にして算出した。今回の面積の割合は4分の1強であり、算出の基準とした。

## 質問

「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」で

は、財産の取得又は処分は、予定価格1千万円以上の不動産、土地については1件5千㎡以上のものは議決がいるとの条例を知っていたか

## 監査員答弁

承知していなかった。

## 質問

人格高潔であり監査員としては適任者と思っていた。行政監査も期待していたのに残念である。

## 遊休町有土地の利用について

## 質問

ノリタ光学跡地の土壌調査等の状況とそれを踏まえた中での利用方法、及び上中子宅地造成土地の販売方法に付いて町長の考えを伺います。

## 町長答弁

ノリタの土地に付いては議会最終日に協議会で説明する事になっていく。有害物質が含有されて



ノリタ光学跡地の土壌調査状況はどうであったか

いて思わしくない。上中子分譲地については、平成15年秋の分譲開始以来、1件の成約もありません。分譲方式と販売の民間委託など検討を行うと共に団塊世代の二地域居住に視点をおき、

ノリタ跡地の活用と自然豊かな農山村の魅力の紹介や菜園の整備貸付など包括的な検討を行い、分譲再開に向けた取り組みを進めたいと考えています。